

## ビジネス日本語 C

釜淵 優子 (関西学院大学日本語教育センター)

### 1. 本科目の目的と到達目標

本科目は、日本での就職活動時に必要な、履歴書やエントリーシートなどの書類の書き方を習得することを目的とし、課題やグループワークなどによる自己分析・企業分析作業も並行して行うことで、自己 PR や志望動機の作成、及び内容面での質の向上を目標とした。

### 2. 授業内容

全 13 回の授業の内容は表1の通りである。授業は基本的に、①事前課題、②課題を元に行うグループディスカッション、③その内容を更にまとめる事後課題、という流れで行った。本年度より日本人学生ラーニングアシスタント(以下、LA)が授業に参加することとなり、受講生 11 名に対し LA4 名が参加した。

表1 「ビジネス日本語 C」授業スケジュール

1	オリエンテーション	8	企業分析 1(業界・適職)
2	履歴書の書き方・提出 (関学指定フォーマット)	9	企業分析 2(志望企業) (ポジショニングマップ・クロス SWOT)
3	エントリーシート(企業別サンプル読解)	10	キャリアプラン・ビジョン作成
4	自己分析 1(ライフラインチャート)	11	志望動機作成
5	自己分析 2(大学時代に力を入れた事)	12	自己 PR 最終プレゼンテーション
6	自己分析 3(強み・弱み分析)	13	履歴書提出(2 回目)
7	自己 PR 作成・発表(400 字版)		

### 3. 成果と今後の課題

開講 2 年目となる本科目だが、本年度より日本人 LA の正式参加が得られることとなり、毎授業でのグループ作業が、留学生 3 名と LA1 名の計 4 名で行うことが出来た。これは受講生にとって「自らについて日本語で日本人に話す」必然性が生じるなど、授業を進める上で大きな助けとなった。

今後の課題は、留学生の自己分析作業への更なる効果的なサポートである。具体的には、①語るべきエピソードを見つける、②アピールする要点をしぼる、③自身を表すキーワードとなる語彙を見つける、④同じエピソードに対し、抽象的にまとめる／具体的に説明するの双方を行き来できるようになる、など段階を踏んだ授業構成が必要だと考えている。